

- 平成26年1月1日から平成27年12月31日まで岡山大学病院においてアブストラル®舌下錠が
処方されたがん患者様 へ -

「フェンタニル口腔粘膜吸収剤の適正使用を目指した後向き研究」へご協力をお願い

研究機関名	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 岡山大学病院		
研究機関の長	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 岡山大学病院	研究科長 病院長	那須 保友 楨野 博史
研究責任者	岡山大学病院	准教授	北村 佳久

1. 研究の概要（研究の背景、目的及び意義）

フェンタニル口腔粘膜吸収剤（アブストラル®舌下錠）は、がんによる急激な痛みを従来の医療用麻薬よりもより早く改善する効果があると期待されています。しかしながら、従来の医療用麻薬と比べると、使用方法が難しいといわれており、日本での使用は進んでいません。そこで、岡山大学病院において、2014年1月1日～2015年12月31日にアブストラル®舌下錠を使用した患者様について調査し、実際の医療現場におけるフェンタニル口腔粘膜吸収剤のより適切な使用方法について、より良い情報を得ることを目指しています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

平成26年1月1日から平成27年12月31日まで岡山大学病院においてアブストラル®舌下錠が処方されたがん患者様 50人を対象とします。

2) 研究期間

平成28年10月7日 ～ 平成30年3月31日

3) 研究方法

岡山大学病院において、2014年1月1日～2015年12月31日にアブストラル®舌下錠を使用した患者様について調査し、実際の医療現場におけるフェンタニル口腔粘膜吸収剤のより適切な使用方法について、より良い情報を得ることを目指しています。

4) 使用する情報

研究に使用する情報として、診療録から抽出した情報を使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し、連結可能匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 情報の保存及び廃棄の方法、二次利用

本研究に使用した情報は研究終了後5年間、岡山大学病院内端末の中にあるパスワード付きの薬剤部フォルダ内で厳重に保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。保存期間終了後は電子情報はコンピューターから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、ホームページならびに薬剤部東1階お薬お渡し窓口横の掲示板にポスターを掲示してお知らせします。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料を入手または閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、この研究におけるあなたの個人情報等の開示はあなたが希望される場合に行います。

あなたの同意により、ご家族等を交えてお知らせすることも出来ます。内容についておわかりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究の結果はあなたの個人情報が分からない形にして学会、論文で発表しますのでご了承下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成28年12月31日までに下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 薬剤師 佐田 光
電話：086-235-7655（平日 9：00～17：00）